KX-5 Twenty

Variable-Gain Line Stage Preamplifier

Owner's Manual

[取扱説明書]

Contents/目次

Welcome to Ayre/はじめに

このたびは、Ayre 製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
Ayre KX-5 Twenty は優れた分解能とナチュラルで心地よい音質のコンビネーションをもつ Ayre 最先端のテクノロジーによって製作されたオーディオ・プリアンプです。ライブパフォーマンスの熱気と臨場感が、初めて音をお聴きいただいた瞬間に鮮明に感じ取っていただけることでしょう。KX-5 Twenty は生涯にわたって、音楽に浸る喜びをお約束します。

●本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。
本説明書を一通りお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、
末長くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

■ご使用上の諸注意

本機の性能を充分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。
●火災や感電等の危険を避けるため、湿気の多い場所や水のかかる場所で本機を使用しないでください。
●火災や感電等の危険を避けるため、本機のカバーを取り外さないでください。内部にはお客様に調整していただく部品はありません。専門の技術者におまかせください。
●本機を、水のかかりやすい場所、湿気の多い場所で使用しないでください。また水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。
●本機の内部にヘアピン等の特に金属の異物が入りこまないよう、充分にご注意ください。
●本機を、暖炉やストーブなど熱源の近く、あるいは熱を発生する機器の付近で使用しないでください。
●本機を、直射日光の当る場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。
●本機は指定された電源以外では使用しないでください。
●本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を直接シャーシに付けることは避けてください。

■設置について

●オーバーヒート防止のため、本機の両側、ならびに上方には最低でも 7.5cm の空きを設けてください。
●本機をキャビネット内に設置する場合には、通気を確保する何らかの方法を講じる必要があります。
●本機と他機を積み重ねないでください。

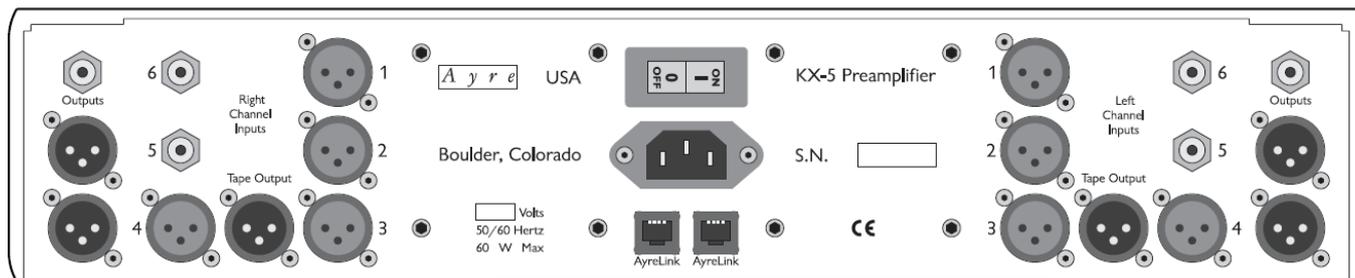
■接続の前に

接続は、本機および接続する機器の電源コードをすべて抜いてから始めてください。

■付属電源コードの取扱いについて

本機に付属している電源コードは、本機専用のものです。他の機器にはご使用になれません。

Connections/接続

[リアパネル]

■入力

4 系統のバランス(XLR 端子)と 2 系統のシングルエンド(RCA 端子)の各入力端子を装備しています。

・リアパネルのバランス入力端子には 1～4 の、シングルエンド端子には 5～6 の番号が振り当てられています。
・本機の初期設定では、入力セレクターで選択した入力番号が IN1～IN6 とディスプレーに表示されます。
この表示名は、実際に接続する機器の略称など、別の表記にすることも可能です。
(後述の「セットアップとコンフィギュレーション」を参照)

■出力

2 系統のバランス(XLR 端子)と 1 系統のシングルエンド(RCA 端子)の各出力端子を装備しています。

・通常はいずれか 1 系統をパワーアンプの入力端子に接続します。
・2 系統を使用すると、バイアンプ接続、サブウーファー接続などが可能です。

■テープ出力

リアパネルの“Tape Output”端子にテープデッキ(アナログ)を接続すれば、本機の入力ソースをレコーディングすることが可能です。(この端子はバランス XLR ですが、シングルエンド入力のテープデッキの場合はオプションの変換アダプターをご使用ください)

・テープ出力の ON/OFF は、フロント左ボタン か、
リモコンのボタン で操作します。

・一度押すとテープ出力が ON となり、フロント左ボタンの LED が赤く点灯します。
もう一度押すと OFF になります。
※テープ出力を OFF にすると、グランドループなどの悪影響を避けるため、この端子に繋いだ機器との接続はグランドを含めて完全に遮断されます。

※テープ出力回路には、変換アンプ(シングルエンド入力信号→バランス出力信号)は入っていませんので、バランス入力端子からの信号はそのままバランス出力され、シングルエンド入力端子からの信号はシングルエンド信号のまま XLR 端子の 2 番ピンから「ホット」が 1 番と 3 番から「グランド」が出力されます。

■AC 電源

付属の電源コードを、電源容量の十分ある100VのAC壁コンセントに直接接続します。延長コードのご使用は避けてください。また、本機は特に AC ライン・コンディショナーやフィルターを必要としませんが、ご使用になる場合は、本機の最大消費電力をカバーする容量が必要です。

■ブレーク・イン

一般的にオーディオ機器は配線材やコンデンサーなどの習性により、機器がベストコンディションに達するまで音楽再生による「ブレーク・イン」運転が必要です。そのブレーク・インとして、本機では 100～500 時間程度を要します。

各入力は入力サーキットボード上でそれぞれ異なったシグナルパスを使用していますので、個別のブレーク・インが必要とされます。

Setup & Configuration/セットアップとコンフィギュレーション

KX-5 Twenty の 6 系統の入力は、それぞれに名前を付け、その名前をディスプレーに表示することが可能です。
また、使わない入力は OFF にし選択できない設定とすることも可能です。
KX-5 Twenty の工場出荷時の初期設定では、すべての入力が OFF となっています。その状態で最初に電源を入れると本機は自動的にセットアップモードに入りますので、以下の手順で使用する各入力の入力名設定を行なってください。
※但し、日本仕様では 6 系統の入力は予め、IN 1～IN6 の入力名設定が行なわれていますので、この手順は不要です。尚、後述の「カスタマイズ」で「リセット」を行なった場合には入力名設定が必要となります。

■入力名の設定(ベーシック・セットアップ)

工場出荷時設定では、すべての入力が OFF になっています。最初に電源を ON(フロント右ボタンでスタンバイ解除)にすると、ディスプレーには「KX-5」と「FWX」が順次表示されます。(FWX の"X"は本機のファームウェアのバージョンナンバーで A から Z のいずれかかで示されます)

SET UP

OFF 1

・次に「SET UP」が表示され本機は自動的にセットアップモードになり、
・始めに「OFF 1」の表示がなされます。

・右ノブを回し、有効にしたい入力番号を選びます。(※※※1～※※※6)
・次に、左ノブを回し入力名を選びます。(選べる入力名は右のリストを参照)

OFF X
INX X
PC X
CD X
PH X
DVD X
SCD X
SSP X
DIG X
TNR X
AUX X
D/A X
DAT X
CDR X
CBL X
TV X
VCR X
LD X
DXS X
CSX X
QB9 X
CX7 X
DX7 X
DIX X

・別の入力への入力名の設定は上記の手順を繰り返します。
・必要な設定が終わったら、左ボタンを押しセットアップモードを終了します。
(ディスプレーに「EX SU」が表示された後、スタンバイになり、右ボタンの LED が緑点灯します)

EX SU

■設定された入力名を変えるには(再ベーシック・セットアップ)

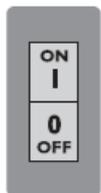
・本機をスタンバイにします。(右ボタンの LED が緑点灯の状態)
・左ボタンを約 3 秒間長押しします。
・ディスプレーに「SET UP」が表示された後、「XXX 1」が表示されます。(※XXX は既に設定した入力名です)
・右ノブを回し、入力名を変更したい入力番号を選びます。
・次に、左ノブを回し入力名を選びます。(選べる入力名は右のリストを参照)

・別の入力への入力名の設定は上記の手順を繰り返します。
・必要な設定が終わったら、左ボタンを押しセットアップモードを終了します。
(ディスプレーに「EX SU」が表示された後、スタンバイになり、右ボタンの LED が緑点灯します)

EX SU

Operation/操作のしかた

本機の操作は本体のボタンやリモコンで行ないます。
※以下の説明でのイラストは、左側が本体のボタンを、右側がリモコンのボタンを表します。

■ON/OFF(主電源スイッチ)

リアパネル中央上側に、主電源を ON/OFF するシーソー式スイッチがあります。
「ON」側に押すと本機に主電源が供給され、スタンバイ状態となります。
※スタンバイ状態ではフロント右ボタンが**緑**点灯します。
「OFF」側に押すと完全に AC 電源が遮断され、すべての操作ができません。
※OFF から ON にした時に、音質がベストコンディションになるまでのウォームアップ所要時間は約 30 分です。

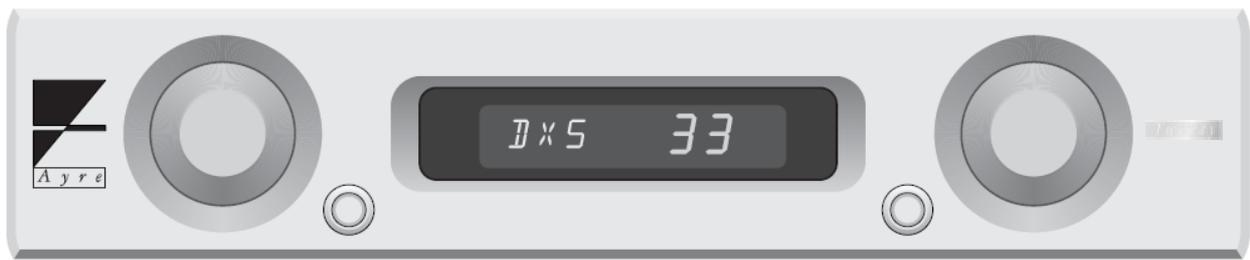
■電源 ON/スタンバイ

※主電源スイッチを OFF から ON にするとフロント右ボタンが**緑**点灯しスタンバイになります。
・スタンバイから電源 ON にするには、本体の**右ボタン**かリモコンの⏻ボタンを押します。(フロント右ボタンの**緑**点灯が消え、ディスプレーが点灯表示します)
・電源 ON からスタンバイに戻すには、右ボタンを約3秒間長押し(※)するか、リモコンの⏻ボタンを押します。 (※右ボタンは短く押すとミュート状態となります)

スタンバイでは、出力ステージへのバイアス供給をカットし電力消費を抑えます。但し、エアーリンクとテープ出力、入力切替など、他の各機能は生きています。※これにより、次に立ち上げた時のウォームアップ時間は短縮されます。

他の Ayre 機器とエアーリンク接続している時は、リモコンの⏻ボタンを約 3 秒間長押しすれば、エアーリンク接続したすべての機器がスタンバイになります。

■ボリューム・コントロール

右ノブを回すか、リモコンの Volume ボタン▲▼でボリューム・コントロールします。ボリュームレベルはディスプレーに 1.5dB 単位 46 ステップで表示されます。最大レベルになると"MAX"と表示されます。

■ミュート

右ボタンは、前記の通り長押しするとスタンバイとなりますが、短く押すとミュートが作動します。リモコンの⊘ボタンでも操作可能です。
もう一度押すと、ミュートは解除されます。

ミュート状態では、ボリューム数字にドットが表示されます。

■入力切替

左ノブを回すと入力が切替できます。リモコンの"Select"ボタンでも操作可能です。
※但し、セットアップで設定していない(OFF としている)入力は表示されず選択できません。

■テープ出力

左ボタンは、前記の通り長押しするとセットアップモードになりますが、
短く押すとテープ出力が ON になります。リモコンの∞ボタンでも操作可能です。
もう一度押すとテープ出力は OFF になります。

テープ出力が ON の状態では、ボタンの LED が赤く点灯します。
※テープ出力を OFF にすると、グランドループなどの悪影響を避けるため、この端子に繋いだ機器との接続はグランドを含めて完全に遮断されます。

■ディスプレーの輝度

リモコンの☼ボタンでディスプレーの輝度を変えられます。(輝度 3 段階と OFF)
ディスプレーOFF(消灯)の場合は、小さな青のドットが点灯します。
※ディスプレーOFF の状態で操作するとその間ディスプレーは点灯し、数秒後に消灯します。

■リモコンの電池装着

本機は出荷時に電池が装着されています。
本機のリモート・コントローラーは、１．５V 単４電池４本を使用します。電池交換は以下の手順を参照下さい。

●リモート・コントローラー下部の蓋を、２本のプラスネジを緩めて外します。
●バッテリーホルダーを引き出し、装着部の表示にしたがって、極性をまちがえないように電池を装着します。
●ホルダーを戻し、蓋を元の通り取り付けます。

! ご注意
＊リモートコントローラーによる操作ができなくなったら、上記の要領で電池を交換してください。
＊長期間ご使用にならないときは、電池の液漏れを防止するため、電池を抜いてください。

⚠ 安全に関するご注意

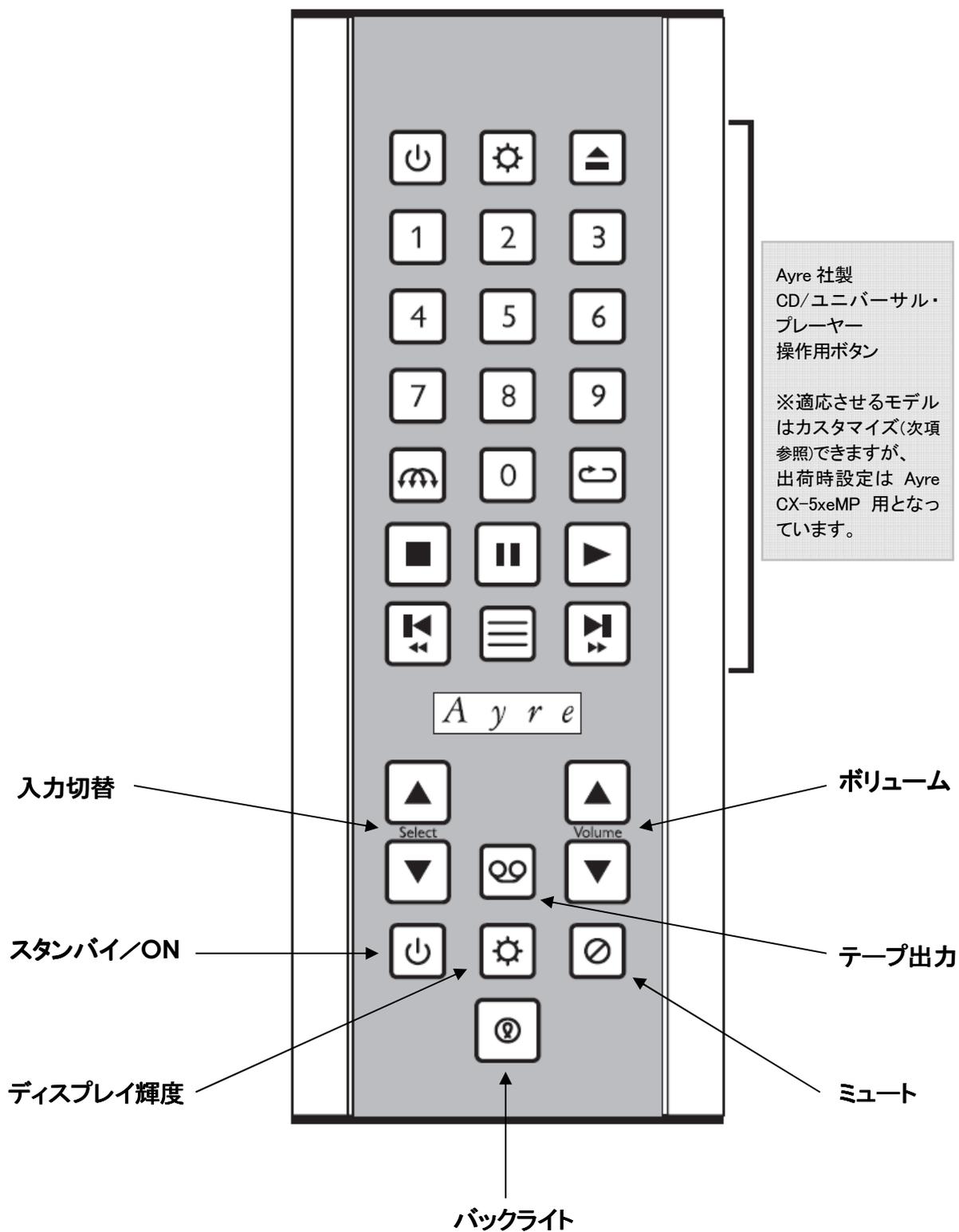
リモコン用の電池の取扱について

⚠ 警告

下記のことは必ず守ってください。電池の使い方を間違えると電池が発熱、液もれや破裂したり、機器の故障やけがなどの原因となります。

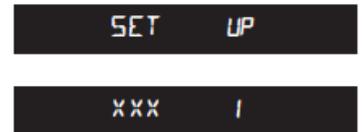
●電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
●電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
●分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
●＋－を逆に入れないでください。
●＋－をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
●この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
●電池に直接はんだ付けしないでください。
●電池そのものや電池を入れたリモコンの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているので、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさけましょう。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。
●電池のもれ液が漏れて目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるのできれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
●長期間ご使用にならない場合はリモコンから電池を外してください。また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。
●電池の使用推奨期限：リモコンの働きが悪くなったりした場合や、また、通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。

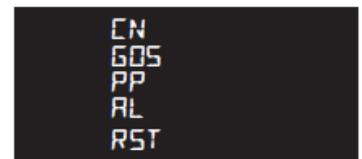
■リモコンの機能

1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
Ayre
Select
Volume
Ayre 社製
CD/ユニバーサル・
プレーヤー
操作用ボタン
※適応させるモデルはカスタマイズ(次項参照)できますが、出荷時設定は Ayre CX-5xeMP 用となっています。
入力切替
ボリューム
スタンバイ／ON
テープ出力
ディスプレイ輝度
ミュート
バックライト

Customization/カスタマイズ

本機は使用する入力とその名前をリストから選んで設定することができます。これをベーシック・セットアップと言います。
また、本機は、他のセットアップとして、各入力個別にカスタムネームを付けたり、入力レベルのオフセット値を定めたり、プロセッサー・パススルー・モードにしたり、エアーリンクの設定を決めたりすることが可能です。これをアドバンスド・セットアップと称するカスタマイズの方法です。
以下、アドバンスド・セットアップのそれぞれについてご案内します。

■アドバンスド・セットアップのしかた

・本機をスタンバイにします。(右ボタンの LED が緑点灯の状態)
・**左ボタン**を約 3 秒間長押しします。
※本機はベーシック・セットアップモードに入ります。
・ディスプレーに「SET UP」が表示された後、「XXX 1」が表示されます。※XXX は設定されているネーミングです)

・**右ノブ**でアドバンスド・セットアップをしたい**入力番号を選びます**。
・**右ボタン**を押すと、**アドバンスド・セットアップ・モード**に入り、そのメニューが出ます。
・**左ノブ**を回し、**メニューを選択**し表示させます。(選べるメニューは下記リストの 5 通りです)

CN (Custom Name)：カスタムネーム
GOS (Gain Offset)：ゲインオフセット
PP (Processor Pass Through)：プロセッサー・パススルー
AL (AyreLink)：エアーリンク
RST (Reset)：リセット

・次に、**右ボタン**を押すと、そのメニューの**詳細設定**画面に進みます。

以下、それぞれの詳細設定の方法をご説明します。

●CN (Custom Name)： カスタムネーム (アルファベット 3 文字以内で入力名を自由に付けられます)

1. 後ろに小数点(カーソル)が表示されている文字が変更対象となります。**左ノブ**を回して変更したい文字を選びます。
2. **右ノブ**を回して、任意の文字に変更します。(文字は A～Z、0～9、ハイフン、ブランクの中から選べます)
3. 上記の手順を繰り返し作成が完了したら、**左ボタン**を押し、前メニューに戻ります。

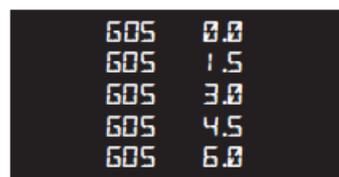
次に、
※別のメニューを選択するには**左ノブ**を回し、**右ボタン**でその詳細設定に進みます。
※別のメニューを選択せずにアドバンスド・セットアップをしたい別の入力を選ぶにはもう一度**左ボタン**を押します。
※別のメニューを選択せずにアドバンスド・セットアップを終えたい場合は**左ボタン**を**二度**押します。

●GOS (Gain Offset)： ゲインオフセット

(ソースコンポーネントの出力レベルはまちまちです。本機は、任意に各入力のゲインを 0dB～+6dB(1.5dB ステップ)の範囲でレベルアップし、入力を切り替えたときに極端な音量差が出ないようするゲインオフセット機能を持っています。)

GOS 0.0
GOS 1.5
GOS 3.0
GOS 4.5
GOS 6.0

1. **右ノブ**を回して設定したいレベルを選びます。
2. **左ボタン**を押し、前メニューに戻ります。

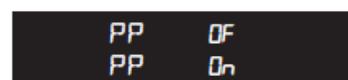
次に、
※別のメニューを選択するには**左ノブ**を回し、**右ボタン**でその詳細設定に進みます。
※別のメニューを選択せずにアドバンスド・セットアップをしたい別の入力を選ぶにはもう一度**左ボタン**を押します。
※別のメニューを選択せずにアドバンスド・セットアップを終えたい場合は**左ボタン**を**二度**押します。

ゲイン調整によりディスプレイに表示される最大音量の数字が"46"より小さくなります。
例：ゲイン調整を 6dB に設定すると、ディスプレイ上の最大音量数字は"40"になり、次に最大音量を示す"MAX"が表示さます。

●PP (Processor Pass Through)： プロセッサー・パススルー

(本機のシステムに接続されているスピーカーをサラウンド・サウンドシステムで共用する場合、サラウンド・プロセッサーからのフロントL、R 信号を本機に入力しますが、サラウンドプロセッサー等のボリュームで音量調節をするため、本機のボリュームを固定ゲインにする必要があります。これを「プロセッサー・パススルー」と称します。)

PP OF
PP On

1. **右ノブ**を回して「**PP On**」を選びます。
2. **左ボタン**を押し前メニューに戻ります。

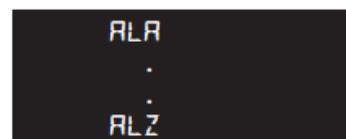
次に、
※別のメニューを選択するには**左ノブ**を回し、**右ボタン**でその詳細設定に進みます。
※別のメニューを選択せずにアドバンスド・セットアップをしたい別の入力を選ぶにはもう一度**左ボタン**を押します。
※別のメニューを選択せずにアドバンスド・セットアップを終えたい場合は**左ボタン**を**二度**押します。

入力切替で「**PP On**」に設定した入力を選ぶと、ディスプレイに音量レベルが**"PP"**と表示され、ゲインは最大となります。もしその入力に一般的なソース機器が接続されていると過大音量となりスピーカーの破損を招く場合が有りますので、設定の前に入力番号及び接続を十分ご確認下さい。

通常設定の入力から「**PP On**」設定の入力に切り替えたときは、内部の VGT ゲインをコントロールするロータリースイッチを駆動するステッピングモーターは一気に最大位置に動くため、大きな動作音がしますが、これは正常で故障ではありません。「**PP On**」設定の入力から通常設定の入力に変えたとき、あるいは電源 ON/OFF 時も同様です。

●**AL (AyreLink)： エアーリンク**

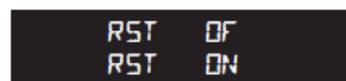
(エアーリンク端子を装備したソース機器を使用する場合、相互にエアーリンク接続すると、ソース機器が ON になるのと連動して同時に本機を ON にし、かつ入力セレクターを自動的にその入力に切り替える機能を持たせることが可能です。
その設定は、連動させたい入力のアドバンスド・セットアップから"AL" メニューで、ソース機器に定められたコードを割り当てることによって行ないます。)

・設定は**右ノブ**を回して「**AL A**」～「」**AL Z**」の内ソースに応じた AL コードを選びます。

・AyreLink 対応の Ayre CD プレーヤー の場合: AL C
・AyreLink 対応の Ayre DVD プレーヤー の場合: AL D
・AyreLink 対応の Ayre D/A コンバーター の場合: AL Q 、など。

※但し、ベーシックセットアップで設定できるいくつかの入力名には、予め AL コードもセットされていますので上記の手順は不要です。(例えば、CD の場合は AL "C"、DVD の場合は AL "D"、QB-9 の場合は AL "Q"など)
※エアーリンクを使用しない通常の場合は、デフォルト設定"AyreLink None"(コード"-")のままで使用します。

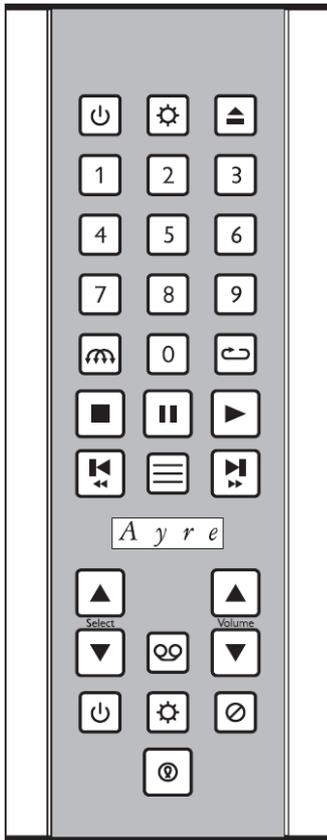
●**RST (Reset)： リセット**

(上記で設定したすべての内容がクリアされ、工場出荷時の初期設定に戻ります。)

設定は
1. **右ノブ**を回して「**RST ON**」を選びます。
2. **右ボタン**を押すとリセットされ、本機は自動的にベーシックセットアップ・モードとなります。

※すべての入力が"OFF"になっていますので、
ベーシックセットアップ(6 ページ)かアドバンスド・セットアップ(11 ページ)に基づいて必要な設定を行なってください。

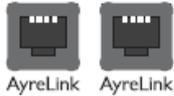
・随時、必要な設定が終わったら、左ボタンを押せばセットアップモードは終了します。
(ディスプレーに「EX SU」が表示された後、スタンバイになり、右ボタンの LED が緑点灯しスタンバイになります。次に右ボタンを押すとスタンバイが解除され動作状態となります。)

■リモコン（CD／ユニバーサル・プレーヤー 操作）

●本機のリモート・コントローラーの上側「プレーヤー操作部」は、出荷時に C−5xeMP（ユニバーサル・プレーヤー）操作用として設定されています。 CX−7eMP（CD プレーヤー）や DX−5(ユニバーサル A/V エンジン)などの操作用に変更するには、以下の表を参照下さい。

CX-7e 操作へ変更	7 を5回押す。全ボタンが5回点滅します。
C-5xe 操作へ変更	5 を5回押す。全ボタンが7回点滅します。
DX-5 操作へ変更	8 を5回押す。全ボタンが 8 回点滅します。
設定の確認	0 を5回押す。 バックライトが7回点滅→CX-7e 操作設定 5回点滅→C-5xe 操作設定 8 回点滅→DX-5 操作設定
ボタンの機能	CX-7e→無効 C-5xe→”Audio”（音声切替）

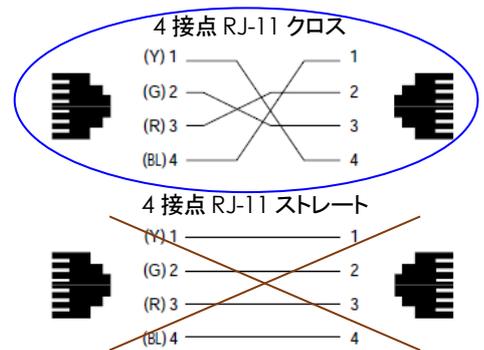
■AL (AyreLink) : エアーリンク接続

●エアーリンク･ポートを装備したソース機器を使用する場合、相互にエアーリンク接続すると、ソース機器が ON になるのと連動して同時に本機を ON にし、かつ入力セレクターを自動的にその入力に切り替えるなどの機能を持たせることが可能です。

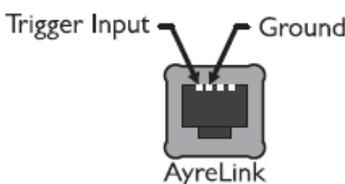
エアーリンク機能を作動させるには、前述の「■アドバンスド･セットアップのしかた ●AL (AyreLink) : エアーリンク」に基づいて必要な設定を行ない、かつ、本機とソース機器それぞれの AyreLink ポートを「エアーリンク接続」します。

※本機は、二個のエアーリンク･ポートを装備していますが、どちらのポートでも使用できます。

●エアーリンクの接続に使用するケーブルは、四接点モジュラープラグ(RJ-11)のクロス結線タイプです。

・RJ-11 - 電話機用に広く用いられているコネクタ形状ですが、 家電量販店等で一般に販売されているケーブルはストレート結線タイプですのでご注意下さい。

・二接点の RJ-11 モジュラーケーブルはエアーリンク接続には使用できません。

■(AyreLink ポートを)トリガーコントロールとして利用する

●本機のエアーリンク･ポートは、エアーリンク接続していない場合、トリガー入力端子として使用でき、トリガー出力を備えた他のソース機器からのトリガー信号を受け、ソース機器の ON/OFF に連動して本機の電源を ON/OFF(スタンバイ)することができます。

●トリガー接続ケーブルは、一般的なトリガー端子がミニプラグなどを使用していますので、RJ-11 モジュラーケーブルの端末加工が必要です。端末の一端を外し、出力機器が採用しているプラグに付け替えます。結線は、下図に示す本機エアリンクポートのトリガー信号をご参照ください。また、トリガー出力機器のコネクターの詳細は、出力機器の取扱説明書も併せてご参照ください。

●本機のトリガー電圧の許容範囲は 5V～12V、消費電流は 5mA です。

・トリガー信号には、レベル･モードとパルス･モードがありますが、本機は自動的にどちらも認識します。

(250msec より長いパルス幅のトリガー信号はレベル･モードとして働き、それより短いパルス幅のトリガー信号はパルス･モードとして働きます。パルス･モードの最短検知幅は 200 µsec です。)

・レベル･モードでは、トリガー入力があると本機は ON になります。また、トリガー入力が無くなるとスタンバイになります。

・パルス･モードでは、トリガー入力の都度、ON とスタンバイが切り替わります。

本体の ON/スタンバイ･ボタンは、トリガー接続時でも操作可能ですが、ON/スタンバイ･ボタンを一度操作するとトリガー出力機との同期は解除されます。その場合、レベル･モード時には、トリガー出力機器の電源 ON/OFF により同期は復活します。パルス･モード時に、同期を復活するにはもう一度本体の、ON/スタンバイ･ボタンを押す必要があります。

Specifications/主な仕様

[Ayre “KX-5 Twenty”]

- 最大入力レベル: 16Vrms(バランス)、8Vrms(シングルエンド)
- ゲイン: 可変(最大+6dB)
- 入力インピーダンス: 2MΩ(バランス)、1MΩ(シングルエンド)
- 入力: 6 系統(4x バランス、2x シングルエンド)
- プリアンプ出力: 3 系統(2x バランス、1x シングルエンド)
- テープ出力: 1 系統(バランス)
- バランス極性: Pin 1 = Ground 、Pin 2 = Hot 、Pin 3 = Cold
- 最大ゲイン:6dB
- 周波数レスポンス:DCー250 kHz
- 電源:100VAC 50 / 60Hz
- 消費電力:20W(スタンバイ時)、40W(動作時) 、60W(ボリューム操作時)
- 外形寸法: 440 W×100 H×340 D(mm)
- 重量:10.5kg
- リモコン付属

Warranty/保証

本機の保証はアクシス株式会社が行ないます。
同梱の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に下記宛にご返送ください。
折り返し、保証書をお送りいたします。
無償保証期間は 3 年間です。
保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27
アクシス株式会社
TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622

輸入発売元:アクシス株式会社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27 TEL:03-5410-0071 / FAX:03-5410-0622
E-Mail: post@axiss.co.jp Web Site: www.axiss.co.jp